



# 令和5年度 蛸島小だより



## ～ 改めて感じた学校の存在意義 ～

1月1日(祝)16時10分に発生した令和6年能登半島地震は、多くの方々の生命を奪い、わたしたちの故郷や、そこに暮らしている人々の住まいや生活の何もかもを滅茶苦茶にしまいました。この度の能登半島地震に際し、お亡くなりになられた方々に、謹んで哀悼の意を表しますとともに、被災された多くの皆様方に心よりお見舞い申し上げます。

いろいろな方々のご支援により、蛸島小学校は、1月18日に3学期始業式を行い、学校を再開することができました。32人の子どもたちと教職員は、全員無事であったことが何よりでした。



地震により変わり果てた学校地内



3つの力を発揮して、少しずつ前に進む

しかしながら、今日現在、登校している子どもたちはまだ少なく、多くの子どもたちは、蛸島から遠く離れた避難先からオンラインで授業に参加しております。

また、複数人の子どもたちは、他市町の避難先の近くにある小学校に通っているといった状況で、32人いた児童がバラバラになってしまいました。致し方ないとはいえ、寂しい気持ちになることは否めません。今はただ、子どもたちが現在いる場所で、心も体も元気であってくれることを願うばかりです。

蛸島小の子どもたちだけに限らず、今回の地震で被災した全ての子どもたちが、大人になったときに、将来への希望を失わず、現実から逃げずに、地に足をつけて、明るい気持ちで自分らしく生きるためには、子どものときに感じる「安心感」が必要だと言われています。子どもは、自分を中心に半径25メートルの空間が心地よい空間であれば安心するそうです。家族と一緒に過ごしたり、友達と一緒に遊んだり、先生と笑いながらお話をしたりすることが「安心感」を生むのです。蛸島小の職員もほとんどが被災者であり、それぞれ悩みを抱えています。子どもたちと接しているときは、常に笑顔をやささず、子どもたちの声をしっかりと聞き、絶対的な安心感を与えられるよう「自力」「全力」「底力」を発揮してがんばっていきたいと思います。

校長 河元 智志

# きれい★蛸島っ子ニュース★

学校生活ウォーミングアップ1月15日～・授業再開1月18日～

令和6年能登半島地震の影響で、蛸島町も大きな被害を受けました。そんな中、子ども達の学びと成長、やすらぎや安全を保障するために、通常の形や日程ではありませんが、1月15日（月）から学校生活ウォーミングアップ、18日（木）から授業を再開しました。学校は避難所になっておりますが、避難所の方々のご理解・ご協力を頂きながら、子ども達は学習を進めています。昨日より今日、今日より明日が実りある1日になるような学校生活を、今後も送りたいと思います。



みんなでめあてを考えたよ！



たこストレッチで体も心もやわらかに！



学校を元気にするために折り紙を折ろう



なわとび運動！それっ！ぴよんぴよん



遠くでもオンラインで近くに感じるね！



なかよくみんなでジャンケン列車(^o^)



3学期始業式！いつでも自力・全力・底力



書き初めで好きな言葉を書いたよ！



百人一首でたくさんふだをとるよ！



みんなと昼食おいしいな～～(^\_^)/



オンラインをしながらの授業です！



ミーシャさんと小出けいすけさんが来てくれた！

## 今日の5・7・5～子ども達の17音の思い～

当番の人が帰りの会に発表しています。その日の心に残った17音です。避難所の方の掲示板や学校の階段のところに掲示しています。



## 2月の予定

- 8日(木) 蛸島小ファミリーデー
- 20日(火) なわとび集会(6限)
- 29日(木) ありがとうの会(6限)

学校が再開し、毎日たくさんの方々  
の支援を受けています。物資だけ  
ではなく、子ども達や職員に温かい声  
をかけて下さるとい「心の支援」  
もあり、元気を頂いています。本当  
にありがたいです。